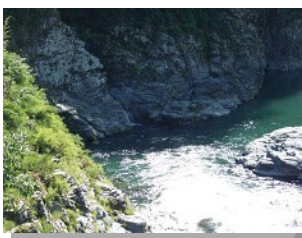
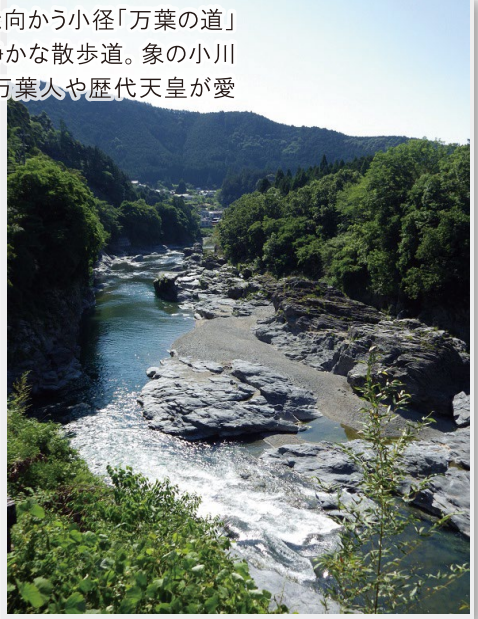


# 美しき清流、宮滝から万葉の道へ

ごまどりケーブルからローカルな話題やエリア情報などをお届けします



暦の上ではもうすぐ秋ですが、残暑がまだまだ続きます。秋の気配が待ち遠しいですね。夏は川遊びの人で賑わう吉野川ですが、宮滝から吉野山へと向かう小径「万葉の道」は、歴史や文学好きにおすすめの静かな散歩道。象の小川のせせらぎに癒されながら、多くの万葉人や歴代天皇が愛した場所を尋ねてみませんか。



**■ 宮滝遺跡の碑**  
飛鳥～奈良時代の複数の天皇が訪れた吉野離宮があったとされている。

**■ 柴橋**  
橋の上から「夢のわだ」を望める。

**■ 展望台からの宮滝**  
宮滝に滝はない。宮滝の滝は「たぎつ」の意味で柴橋の中ほどから下流を向くと「たぎつ瀬」の様子を見ることができる。  
※たぎつ・・・水が激しく流れる・わき立つ

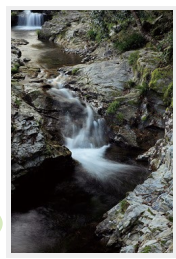
**■ 夢のわだ**  
象の小川が吉野川に流れ落ちる場所。その美しさに多くの万葉人が歌を残している。



**■ 道標**  
→ 桜木神社まで約0.5km  
→ 高滝まで約2km



**■ 宮滝展望台**  
美しい川辺が見下ろせる。ベンチあり。



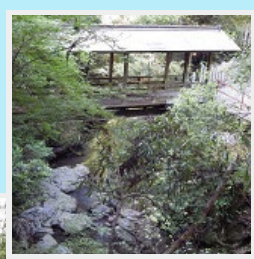
■ 象の小川



**■ 高滝**  
高さ約15メートル。象の小川沿いにあり、万葉の道から滝の下まで歩道が整備されている。源義経が吉野から逃れる際に通過したとも言われ、別名「義経馬洗いの滝」。葛飾北斎が描き、本居宣長が訪れた由緒ある名瀑。

## ■ 桜木神社

「壬申の乱」に際し、即位を巡る対立から吉野へ身を隠した大海人皇子(後の天武天皇)。兵に攻められた時、この神社にあった桜の大木に身を潜め難を逃れたと言う伝説がある。天武天皇を祀り「桜木宮」とも称されている。社があるのは、万葉集にも詠われている象の小川のほとり。昔ながらの屋形橋や石灯ろう、朱塗りの社殿、四季の情景が風情を誘う。



<住所>  
吉野町喜佐谷423  
境内散策自由

森林セラピー 「吉野・宮滝 万葉の道」  
近鉄吉野駅～如意輪時～高滝～桜木神社～宮滝  
約8キロのコース  
※実施の有無についてはご確認ください

■お問い合わせ  
一般社団法人  
吉野ビジターズビューロー  
☎ 0746-34-2522  
<https://yoshino-kankou.jp/>

わざわざ寄り道したくなるお店♪

焼きたてパン&タルト

# Maison Y <メゾン・イグレック>

住 奈良県吉野郡吉野町平尾64-2  
 電 0746-39-8018  
 営 11:30~17:00(売り切れ次第終了)  
 休 月・火・水曜日  
 Facebook: Maison Y (メゾン・イグレック)



大人の葡萄パン  
パン・オレザン



## 吉野町に昨年秋オープン

鮮やかな黄色の壁とトリコロールカラーの丸い看板が目印のお店。パンはオーナーシェフが、こだわりを持って一人で丁寧に作っています。メインの商品は日替わりなので、何が並んでいるかはお楽しみ! SNSでおススメを発信しています。

## 上質&ボリュームなパン

発酵バターをたっぷり使ったクロワッサンやデニッシュパン、研究を重ねたこだわりのプレミアム食パン、本場の味を追求したフランスパンなど、食べてみれば納得の味。キッシュや総菜パン・吉野らしい桜あんぱんなども。



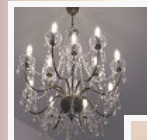
## お店の雰囲気にもこだわりが

店があるのは、広がる田園風景に旧家があるのどかな場所。オーナーが製造技術を学んだフランスのリヨン郊外と雰囲気が似ているのだそう。一步店内に入ると、シャンソンが流れシャンデリアが輝く、エレガントな空間です。

ちいさいけど  
雰囲気のある  
素敵なお店です!

## タルトやシュークリームも本格的

常時数種類あるタルトは、旬のフルーツが見た目も素敵です。フランス伝統菓子の定番アマンディーヌやタルトシトロン、濃厚なクリームがぎっしり詰まったシュークリームなど、素材の良さが味わえるスイーツも是非お試しください!



## 万葉の時代に想いを馳せる

大和を基盤とした歴代天皇が何度も訪れた吉野。現在は吉野と言えば吉野山を思い浮かべますが、天皇が何度も行幸に訪れ、吉野離宮が造営されていたのは、今回ご紹介した宮滝辺りだと調査や研究からわかってきました。水を乞う祈りのため?ひと時の安らぎを求めて?その地に温泉が湧いていたのでは?という説まで。驚くべきは、持統天皇が在位中に30回以上も訪れたという記録が残っています。かつて、夫(天武天皇)と共に過ごした思い出の地を懐かしんでいたのでしょうか。藤原京や飛鳥京から芋峠を越えて宮滝へ歩いたとされるルートは、奈良県のホームページにウォーキングコースとして紹介されています。当時の面影が今も残る宮滝の景色は、奈良県景観資産にも登録されています。μ

